

県医労新聞

2011年10月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1855号(月刊70号)



「第16回全国アクトin和歌山」(2011年8月26日～28日)

－ 目 次 －

- 1 P 岩手県知事選挙総括
- 2 P 岩手医労連第64回定期大会
支部ニュース
組織拡大強化・共済推進全国
交流集会
- 3 P～4 P 女性部ニュース
- 5 P～6 P 青年部ニュース
- 7 P 看護部ニュース
- 8 P つぶやき、とんがらし
8月号パズル当選者
- 9 P 職場川柳 懸賞パズル
10・11月の予定
お知らせ



女性部バスハイク「平泉・中尊寺」見学
(2011年9月17日)

地域医療再建に向け、

これからがスタート

～2011年岩手県知事選挙の結果報告～

岩手県知事選挙が9月11日投票で終わりました。県医労は、「明るい民主県政をつくる会」(略称:明るい会いわて)に加わり、鈴木つゆみち候補との政策協定を結び当選をめざしたたかってきました。その結果について、9月16日「明るい会いわて」が行った協議内容もふまえ報告します。

■被災県での初めての県知事選挙

県知事選は、東日本大



全国から応援をいただいた候補者カー

震災津波の被災県では初めての県知事選となり、過去の最低の投票率(59・92%)のもと現職の達増知事(得票数438,975票、得票率68・25%)が再選しました。

「明るい会いわて」から立候補した鈴木つゆみち氏は得票数が25,240票(得票率3・92%)に留まりました。その他の候

補は、高橋博之氏が得票数163,397票(得票率25・4%)、芦名鉄雄氏が得票数15,567票(同2・42%)となりました。

■大きかった政策論戦で果たした役割

残念ながら得票数は遠く及びませんでした。政策面では「被災した県立病院の再建」について、被災地には安心して入院出来る病院がないなど、被災者が求める一日も早い復興をすすめる優先課題に押し上げました。

岩手日報は、「被災3県立病院再建57%」と県議候補アンケート結果を1面で報道。更には、知事選後にも、「知事再選、達増氏に聞く」の記事として、「高田、大槌、山田の県立病院『機能低下させない』」のコメントをやはり1面トップで取りあげました。今回の選挙選を通じ政策論戦で果たされた役割は大きかった、と言えます。

■貴重な経験を県民要求実現へ

県医労は、この間7支部で選挙学習会を開催しました。「個人演説会に初めて参加した」、「選挙カーの車



磐井・南光支部の選挙学習会の様子

長を初めて務めた」など貴重な財産もつくりました。選挙ハガキ書きや証紙貼りなどスタッフとしても活動しました。「明るい会いわて」は今後、県知事選の全面的な総括を行う会議を開催するとしています。これから、県立病院の再建など被災者が願う復興と県民要求実現のたたかいの、新たなスタートです。

仮設でも チームワークはバッチリ!!

山田支部紹介

開院まもなく撮影



山田病院仮設診療所

7月4日から仮設診療所で働いている山田病院支部のいまを紹介します。

■職員数は？ 39名です。
(医療職のみなさんは、写真でも分かれるとおりの白衣で働いています)

■休憩は？ それぞれの持ち場で。ちなみに看護科は看護事務室で和気あいあいと昼食をとっています。

■不便なことは？ 仮設診

療所の付近に昼食など買い物できるところがなく、交通の便も悪いこと。

■最近職場ではやっている事は？ フラフラとウォーキング。勤務終了後に楽しく行ってます(写真がないのが残念)

■最後に一言お願いします 山田病院の安全な場所への再建が職員の強い願いです。それまでチームワークで頑張ります!

全国の仲間と共済を推進しよう

2011

組織拡大強化・共済推進全国交流集会



講演する佐々木昭三氏
(働くもののちと健康を守る全国センター理事)

9月22日(木)～23日(金)上記集会が花巻温泉ホテル千秋閣で行われました。被災地での開催に全国から350名が参加し、〇〇〇副委員長が特別報告しました。

岩手医労連が大会

秋の闘いへ スト権確立

岩手医労連第64回定期大会が、9月3、4日の両日、盛岡市内で開催されました。大会では、東日本大震災の中でも春闘をたたかい、不払い残業の改善、介護職員の正規職員化への協議開始などの

報告や、知事選などへの積極的な参加などが討論されました。また、夜の懇親会での「報告」もあり、運動方針が満場一致で採択されました。

役員選挙では、引き続き中野・県医労中央執行委員長が執行委員長に選出されました。秋をたたかう産別ストライキ権が投票によって確立しました。

第57回日本母親大会 in 広島 7月30・31日

「核兵器のない世界を」
「原発のない日本を」
第57回日本母親大会は
母親運動の原点の地、
広島で開催されました。

くらしとこのちをひる

「核」も「原発」も
いらない！

30日、全体会が行われた広島総合体育館は、8500人の参加者でいっぱいになりました。東日本大震災犠牲者への黙祷が始まり、福島・宮城・岩手の被災地からの参加者（250人余）を紹介すると会場から大きな拍手がおこりました（岩手74人参加、うち県医労から7支部・本部14人）。

ワーク事務局長の湯浅誠さんが、「貧困なくし 人間らしく生きられる社会をつくる」と題して講演。

午後の文化行事では、特別出演のクミコさんが、3月11日に宮城県石巻で大震災に遭遇した体験を語りながら「祈り」ZORI」などを熱唱し、参加者を魅了しました。「今日の運動」では、被災地からの報告が行われ、岩手からは釜石の参加者が被災当時の状況を報告し、「震災直後から、いのちの砦となった県立病院の再建とともに、家も仕事も失った被災者が個人の尊厳を守り、憲法に保障された生活を守るために声をあげていきたい」と訴えました。宮城からは水産特区を導

入しようとする村井知事を批判し、「住民本位の復興を」と訴え、福島からは「夏休みなのに、子どもの遊ぶ姿のない公園などを見ると、普通の生活が奪われた怒りがわいてくる。本当に子どもたちを守るだろう



熱唱するクミコさん

か」と涙ぐむ報告者に会場からは「がんばって！」の声がかかりました。

集会終了後、「核兵器なくせ」「原発からの撤退を」などのシュプレヒコールを響かせて、広島市内を元気に行進しました。

二日目は分科会。特別企画の「原爆碑めぐり」「被爆電車に乗って」など、広島ならではの分科会が大盛況でしたが、中でも吉永小百合さんが原爆詩を朗読した特別企画は夢のような時間でした。

昨年の福島大会に次ぐ広島での開催。「核」も「原発」もいらないの思いを強くした大会でした。



石の参加者が被災当時の状況を報告し、「震災直後から、いのちの砦となった県立病院の再建とともに、家も仕事も失った被災者が個人の尊厳を守り、憲法に保障された生活を守るために声をあげていきたい」と訴えました。宮城からは水産特区を導

記念講演

生活のためにがんばる
社会からの脱出を！

反貧困ネットワーク事務局長 湯浅誠さん

「貧困なくし 人間らしく生きられる社会をつくる」ためには、「つくる」と「求める」ことが大事。死因のトップが自殺で、13



講師の湯浅誠さん

年間連続して3万人が亡くなっている。「就活」「婚活」に続き「生活」がとても苦しくなっている。次世代に「3万人も自殺する社会はおかしい」と、示せるような社会をつくろう。

（上）8500人の参加者で埋まった全体大会会場（下）壇上で被災地からの報告をする釜石の参加者。右は釜石支部の〇〇〇〇さん（ともに、7月30日、広島総合体育館）



(上) 月見坂 (下) 毛越寺庭園

女性部バスハイク

中尊寺と歴史と文化を肌で感じて

9月17日、7支部・本部20名が参加し、世界遺産に登録されたばかりの中尊寺と毛越寺を見学しました。

中尊寺では、ガイドさんから藤原四代の歴史などを聞きながら、三千点を超える国宝・重要文化財を収蔵・展示した「讃衡蔵」や本堂・金色堂を見学。なんと言っても見所は、金箔で覆われた金色堂。日本にはない夜光貝でつくられた螺鈿細工、時絵などの漆工芸、見事な彫金など、改めて世界遺産のすばらしさを実感しました。また、日本

にはない夜光貝をどうやって手にいれたのかは不明という説明に、歴史のミステリーを感じました。

平泉は「修学旅行以来」という人や「何回か来てはいるものの、ガイド付きは初めて」という参加者が殆どで、「正しい知識を得ながら見学できて良かった」と好評でした。昼食後は、毛越寺に移動。「夏草や兵どもが夢の跡」松尾芭蕉が悲運の武将・源義経を偲び詠んだ句碑を眺め、本

堂を参拝して、庭園を散策しました。時季的に花も、木々の色づきもないのは残念でしたが、緑の深い庭園は、音が吸い込まれるような空間でした。中尊寺の歴史や奥州藤原氏の文化を肌で感じた一日でした。

いわて女性・九条の会 講演

ヒロシマからフクシマへの道

アーサー・ビナードさん(詩人)

9月19日、いわて・女性九条の会が6周年を記念して講演会を開催しました。講師は詩人のアーサー・ビナードさん。絵本を紹介しながら、原爆と原発のつながりについて話され、原子力の歴史は核兵器開発の歴史であること。いま福島で起きている



アーサー・ビナードさん

ことは不思議なことではなく、今まで何もなかったことがむしろ奇跡だと話されました。そして、「今、必要なことは何か。それは『いやだ』と言うこと。拒否することで新しいことがはじまる」と力強く訴えました。



ガイドさんの説明があるとわかりやすいね

広げよう！仲間との「絆」の輪

第16回全国アクトin和歌山



アドベンチャーワールドでみんなパンダに大変身

行き先は、①アドベンチャーワールドコース②熊野古道と那智の滝コース③道成寺と梅ジュースづくりコースの3コース。アドベンチャーワールドでは、イルカショーをずぶ濡れで楽しみ、双子のパンダの愛くるしさに癒されました。世界遺産の熊野古道を歩き、那

日本医労連の山田眞巳子委員長が「3日間楽しんで、その楽しさをみんなに伝えてほしい。この3日間の出会いが新しい運動につながることを祈っています」と開会あいさつをしました。



8月26日(金)～28日(日)、第16回全国アクトが和歌山県白浜で開催されました。キーワードは「絆パワ―」。全国の医療・介護現場で働く青年513名が参加し、様々な企画を通して、全国との仲間との「絆」を深めた3日間となりました。

初めて出会ったメンバーで班をつくり、3日間過ごすアクト。2日目のフィールドワークの行き先をかけたクイズ大会などを行ない、緊張をほぐしました。



東北ブロックの出し物は、もちろん恒例の「ねぶた」

智の滝を望んだ参加者は、足の疲れも一気に吹き飛ばし、神秘的なパワーに包まれました。人気のなかった道成寺と梅ジュースづくりコースでしたが、道成寺での説法は笑いあいのとてもいいお話で参加者も納得の内容でした。



アクト2日目の夜祭りは、美しい海が目の前に広がる白い砂浜で行なわれました。始めに、参加者全員で「和」



ありがとう白浜！

の人文字をつくりピースアピール。司会者の合図とともに、それぞれの平和の思いが書き込まれた風船を一齐に空に飛ばしました(表紙写真)。次に会場に組まれたステージで各ブロックが事前に練習した踊りなどを披露。北海道ブロックからは函館名物「イカ踊り」、東海・北陸ブロックからは「マルモの歌」などが披露され、会場全体が一体となり盛り上がりました。

3日目の閉会式終了後、「絆」を深めた参加者は、涙を流し別れを惜しみながら解散しました。

青年部

新役員を代表して再任した
〇〇青年部長がいさつ



岩手医労連青年部第31回定期大会 新体制ついにシッポな顔ぶれでスタート

9月17日（土）、盛岡市「都南公民館（キララホール）」で岩手医労連青年部第31回定期大会が開催され、医大職組、北上済生会従組など11単組から代議員・オブザーバー含め30名が出席。

大会では、運動方針、収支報告、収支計画など全ての議案について満場一致で承認されました。

新役員体制は、県医労からは引き続き、〇〇青年部書記長が青年部長に再任、執行委員には新たに釜石支部の〇〇〇〇さんが選出されました。全体では3分の2以上が新メンバーというフレッシュな体制でスタートすることになりました。

夕方からは会場を移し、懇親会で交流を深めました



青年部中央交流会in仙台

～仙台ハイランド&温泉&お買い物ツアー～

日本でココだけ
縦、横、逆バンジー
が体験できます

とき 2011年11月19日（土）
20日（日）

宿 秋保温泉 篝火の湯 緑水亭

参加費 7500円

宿泊費（1泊2食付）、新幹線往復チケット代、
仙台駅～ホテル間バス料金、19日昼食代含む
ただし、Aコース参加者は、ハイランドフリーパス
が付いて参加費は 1万円 になります

☆☆ご家族との参加も可能です☆☆

ただし、参加費 7,500 円は本部青年部費で補助をした後の金額ですので、ご家族が参加される場合は実費負担になります。金額につきましては、発着駅や部屋人数によっても違ってきますので、組合本部までお問い合わせください。



今がチャンス!

看護師の労働環境改善へ!!

～ 2011 看護要求実現交流集会 ～

日本医労連新委員長の山田真巳子さん



2011看護要求実現交流集会は、9月6～7日に静岡県熱海市で開催され、看護職員の増員や夜勤改善、職場の労働条件改善に向け、運動を交流しました。

山田真巳子日本医労連委員長は「看護師等の『雇用の質』の向上のための取り組みについて」の厚生労働省通知はこれまでの運動の成果によるもの。この通知を十分職場で生かし、使用者と労働者が共通

認識を持つことが求められている」とあいさつ。

次に、静岡県立大学の紙屋克子教授が



静岡大学の紙屋克子教授

委員長が、「この秋の『いのちを守るキャラバン行動』の成功で大幅増員と夜勤改善・労働時間規制を前進させよう」と訴えました。

その後の職場からの報告で、釜石支部

の〇〇〇〇さんが「東日本大震災により被災して」と題して、被災した釜石病院の状況と県立病院の再建が不透明であることを報告しました。周囲と連絡が取れない中、患者を守るために必死で行動した



報告する釜石支部の〇〇さん

緊迫感が伝わり、涙する全国からの参加者もありました。

2日目は、5つの分散会と2つの分科会が開催され、県医労の参加者の1人からは、「岩手では、震災復興が先かなと感じた」と感想が寄せられました。

〇〇書記長は最後に「この運動は働く誇りを取り戻す運動。職場からのたたかいが大きな力を持つ」と呼びかけました。

全体の参加者は287名、県医労からは3支部・本部5名が参加しました。



聞き入る県医労の参加者

つづき

二戸での鈴木露通さんの演説を聞き、鈴木さんの温かい人柄や熱い思いを知ることができました。被災者の方が落ち着いて暮らせるよう、応援したいと思います。

二戸支部 おつきみ

この時期、恒例の「かかし」が田んぼにお目見えした。それぞれ表情が違って「ふふつ」と、一人で笑ってしまうくらい癒されます。こういう田舎の風景好きです。

中央支部 クッキーママ



7月の医療研究集会、8月の女性部定期大会に参加し、他病院の懐かしい顔を

見て、安心する自分がいました。5カ月経っても心の傷は癒えていないことを思い知らされる毎日です。仮設住宅に入居してからの自殺が増えていきます。何もできない自分がいて、何かしなければという思いだけがつります。

中央支部 いちろうの母

今まで頂いた図書カードで、息子が夏休み課題図書を購入しました。お買い物

デビュー。

中央支部 トド

こんなに暑いのにクールビズが許されない看護師たち。一番動いて汗かいてるのに……。しかも、ナース服って暑苦しい。

一戸支部 感染さん

育休明け

久々採血

手が震え

宮古支部 ママがんばる

8月号パズル 当選者発表

8月号パズル「まちがいは7つ」には23名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■8月号当選者(敬称略)
がまちゃん(久慈支部)、はなび(二戸支部)、越冬カメ虫、ミッキー(一戸支部)、トド、まなぼう、いちろうの母(中央支部)、テレビっ子(大船渡支部)、夏バテ子、ママがんばる(宮古支部)

とんがらし

今年も看護要
求実現交流集
会が開かれまし
た。今年は6月に出
され、画期的と
言われた厚労省
通知「看護師等
の『雇用の質』
のための取り組
みについて」が

話題になりました。これは昨年12月に結成された厚労省内プロジェクトチームが検討し、結果をとりまとめたものです▼岩手では、すでに岩手医労連看護対策委員会が労働局に申し入れをしています。その内容は、この通達の具体的な取り組みの1つである、県の企画委員会設置を早急に立ち上げることで、その企画委員会のメンバーに労働者代表として、岩手医労連代表を入れることです▼超高齢化社会を目前に、看護師の労働条件を改善し、離職に歯止めをかけようと、やっと厚労省が重い腰を上げたのです。これは、これまでの私たちの運動の成果でもあります

▼労働条件が改善され、働き続けられる職場になれば、今の悪循環は止められるはず。「働くものの誇りを取り戻す運動」と日本医労連の相澤書記長がまとめで言いました。「いい看護がしたい」そのためのこの秋の闘争です▼禅の言葉に「喫茶去(きつさこ)」という言葉があります。これは「まあ、お茶でも召し上がれ」という意味で、1杯のお茶を美味しく飲むことが禅の神髄というわけです。私たちはお茶を飲んでいる時でも、あれこれ考えてしまいますが、お茶を飲む時はひたすら、お茶を飲みましょうという事らしいのです▼考えてみれば、忙しい医療の現場でも、1人の患者さんを前にして集中して関わるのが難しいことが多々あります。話を聞いていながら、次の業務のことを考えている事もしばしば。この秋の闘いで、患者さん一人ひとりに向き合うことができるような労働環境改善へ向け、粘り強く運動していきましょう。(く)

- ◇復興へ 景気をつける 秋祭り (やぶきめ)
- ◇更年期 この汗、冷や汗 玉の汗 (そして不眠も)
- ◇新首相 増税するのは 誰のため (被災地住民)
- ◇記念日に 年次も取れない 我が職場 (休めない人)
- ◇原発を 安全というなら 東京に (山本大郎)

職場川柳



温泉で
リフレッシュ!
そして働くものの
権利を学ぼう!

フレッシュセミナー

日時 10月28日(金)13:30
～29日(土)11:30

会場 ホテル森の風 鶯宿

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先020-00023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は10月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ

懸賞パズル



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお忘れなく!

10月の予定

- 1日(土) いわて労連定期大会(共済ビル)
- 3日(月) 女性部長会議(県民会館)
- 4日(火) 県医労給食問題研究会(アイーナ)
- 6日(木) 県医労看護部会(水産会館)
- 15日(土)～16日(日) 岩手医労連壮年部集会(花巻温泉)
第56回はたらく女性の中央集会(東京)
- 20日(木) いのちまもる10.20国民集会(日比谷野音)
- 22日(土) 県医労第146回中央委員会(水産会館)
- 23日(日) 全国青年大集会2011(東京)
- 28日(金) 県医労青年部長書記長会議(森の風)
- 28日(金)～29日(土) フレッシュセミナー(森の風)
- 29日(土)～30日(日) 国民医療研究所2011看護介護講座in盛岡(サンビル)
- 30日(日) 福島原発抗議 フクシマ現地集会(仮)

11月の予定

- 1日(火)～9日(水) 岩手医労連2011秋闘全国キャラバン岩手行動
- 2日(水)～3日(木) 保育大集会中央行動(仮)
- 5日(土) 第56回はたらく女性の岩手県集会(県民会館)
- 8日(火) 県医労書記研修会(岩手教育会館)
- 11日(金) 日本医労連2011産別統一行動日
- 11日(金)～12日(土) 日本医労連精神労組全国交流集会(東京)
- 16日(水) 日本医労連対政府中央行動政府交渉国会議員要請
- 19日(土) 支部長会議(県民会館)
- 19日(土)～20日(日) 県医労青年部中央交流集会(仙台)
- 22日(火) 県医労職制組合員集会(ホテル大観)
- 26日(土)～27日(日) 日本医労連病院給食対策全国交流集会(京都)
- 日本医労連東北地方協院内保育所交流集会(山形)